

---

神戸大学総合情報処理センター

## センターニュース抄録

The Kobe University Information Processing Center News No. 82  
No. 83  
No. 84

---



## 目 次（詳細）

### センターニュース No. 82

1. 神戸大学学内ネットワーク名称決定！
2. LANシンポジウム'94のお知らせ
3. 計算機システム利用経過（結果）報告及び継続申請の手続きについて
4. データベース開発計画・共同利用データベース計画の募集
5. 研究開発テーマの募集について
6. プログラム相談員募集について
7. 年度末ファイル退避のための磁気テープ貸出について
8. 年次処理作業に伴う計算機運用サービスの停止について
9. CONVE Xの新ソフトウェア紹介

### センターニュース No. 83

1. 年次処理作業に伴う計算機運用サービスの停止について
2. 計算機システム利用経過（結果）報告及び継続申請の手続きを済ませていない方々へ（お断り）
3. A-U X（j u p i t e r）の廃止
4. ワークステーションの利用負担金について
5. J O Bクラスの変更
6. 自習室変更のお知らせ
7. N e X Tサービスの変更
8. D E C 5 8 1 0（j a s m i n）のサービス縮小
9. センター内線番号変更のお知らせ（重要）
10. プログラム相談”新”メーリングリスト開設のご案内

### センターニュース No. 84

1. 日英翻訳ソフトウェア”PIVOT”紹介
2. 平成6年度プログラム相談紹介
3. 計算機利用料金通知書発送方法の変更について
5. A C O S オンラインヘルプについて
6. 分館の様様替えについて
7. 計算機システムサービス時間について
8. ネットワークQ&Aを受け付けます
9. 「総合情報処理センター・夏期講習会」および「情報ネットワークシステム委員会・ネットワーク講習会」のお知らせ

## 1. 神戸大学学内ネットワーク名称決定!

KHANとは、神戸大学学内ネットワークの名称です。

*Kobe Hyper-Academic Network* 略して KHAN[ka:n]という。  
hyper-;ギリシャ語の“hyper”から来た語で、ラテン語の“super-”に等価である。  
本来、ギリシャ語系の単語に付き、次の意味を表す連結系である、  
over, above, beyond, more than, excess (～を越えて、～の上に、超～)  
academic; 大学の、学問的な

また、khan としても意味があり、英和辞書によると「khan ;アルタイ語を話す種族で世襲の支配者や部族の長がもつ称号。」という意味もある。古くは、「ジンギス・カン」で知られる「カン」であり、内蒙古においては「玉の中の玉」と認めうるものに対する称号である。しかも、khan は「神戸大学」の「神」という文字のもつ(かん)と、同音であり、音韻的にも覚えやすい。従って、このネットワークが広く学内に浸透され、情報を司る王者として皆に認められ、そして、また大学内にとどまらず、広く大学を越えてより高みをめざしたネットワークとして大成するように願いを込めて名付けられたのです。

## 2. LANシンポジウム'94のお知らせ

### LANシンポジウム'94 「情報ネットワークの新たなる展開」 —知のキャンパスを目指して—

開催ご案内

この度の神戸大学学内全域におよぶLANの敷設にとまない、これからの情報ネットワークのあり方を模索する場として、

**1月26日(水)午前9時30分より本学瀧川学術交流会館**  
会議室にて、LANシンポジウムを開催いたします。(同会場にて関連企業によるLAN機器のデモンストレーションも開催!)

なお、シンポジウム終了後には懇親会を予定しております。

参加ご希望の方は、シンポジウム・懇親会参加の有無をご記入の上、**1月24日(月)まで**に参加人数、氏名、所属を下記申込先までご連絡下さい。

\*参加者多数の場合、会場の都合によりお断りすることがありますのでご了承下さい。

なお、当日の受付は同会場にて午前9時より行ないます。

### <申込先>

住 所：〒657 神戸市灘区六甲台町1-1  
神戸大学総合情報処理センター内 シンポジウム担当宛  
FAX：078-881-7483  
E-mail：lan@iclluna.kobe-u.ac.jp

※本紙 NETWORK 特集に関連記事がありますのでご参照下さい。

## 3. 計算機システム利用経過（結果）報告及び 継続申請の手続きについて

平成5年度計算機システム利用経過（結果）報告、および平成6年度計算機システム利用のための継続申請の受付を次の要領で行います。

なお、必要書類は2月初旬頃、**各支払い責任者宛に発送**の予定ですので、継続申請受付開始時になってもお手元に届いていない方は、センター本館2F事務室までお問合せ下さい。

**継続手続きを忘れずと、現在利用のファイルは利用できなくなります**ので、くれぐれもご留意の上、**早めに**継続申請手続きを行って下さい。

### 1) 来年度も引き続き計算機システムの利用を希望される方（継続者）の手続きについて

継続申請に必要な書類は次のとおりです。

- ① 計算機システム利用継続申請書……【注】
- ② 計算機システム利用経過報告書

書類①の記載事項（職名、予算限度額、ファイル容量等）に訂正があれば変更する項目に**赤鉛筆**で訂正し、書類②には**経過**を○印で囲み、必要事項をご記入の上、**平成6年2月14日（月）より3月4日（金）迄**にセンター本館2F事務室までご持参下さい。

### 2) 平成5年度で計算機システムの利用を終了される方の手続きについて

本年度にて計算機の利用を終了される方は**平成5年2月14日（月）より3月4日（金）迄**に、計算機システム利用（経過・結果）報告書の結果のところを○印で囲み、必要事項をご記入のうえ、センター本館2F事務室に提出して下さい。

### 3) ワークステーションの継続手続きについて

ワークステーションを利用されている方（CONVEX, EWS4800, DECシステム）は大型計算機システムの継続手続きをされますと、従来申請されている内容で自動的に継続扱いとします。

利用終了の手続きをされた方は、ワークステーション上のログイン名およびファイルは全て抹消されますので必要なデータをお持ちの方は**3月28日**までにCGMTあるいは、フロッピーディスクに退避を行ってください。

#### 【注意】

- ・現在、専用ファイルをお持ちの方は、書類①の専用ファイルの継続利用の有無、及びファイル容量も併せて確認してください。
- ・継続申請書類は郵送（学内便）でも構いませんが、まれに紛失することがありますので、ご面倒でもできる限り直接**センターまでご持参**下さいます様お願い致します。
- ・書類に印鑑もれ、記入ミス等の不備がありましたらそのまま書類を返送しますので、修正後直ちにセンターまで再提出願います。また、これまで記入不備による再送等で手続きが遅れることもありましたのでご注意ください。なお郵送の場合も継続申請書類は**3月4日（金）必着分までを有効**とし**受付期間を過ぎても何の連絡もないユーザにつきましては、利用の終了とみなし今年度限りで現在利用の課題・ファイルが利用できなくなりますので、どうぞご了承下さい。**

#### 【追記】

- ・本年度内の『新規』利用登録の受付は**平成6年3月4日（金）**までとし、その日以降の受付は来年度（登録は4月～）扱いとなりますのでご了承下さい。

## 4. データベース開発計画・共同利用データベース計画の募集

センターでは、貴重な学術情報のデータベース開発の支援と、既開発データベースを管理運用し、広く共同利用に供することを行っています。そのようなデータベース開発テーマをお持ちの方、あるいは既に個人的に開発されたデータベース、又は外部から提供を受けられたデータベースなどで共同利用可能なものをお持ちの方は、奮ってご応募下さい。

なお、申請が承認されますと、開発、維持管理にかかる計算機システム利用負担金の一部は免除されます。

- \*データベース開発必要書類 : データベース開発計画書
- \*共同利用データベース必要書類 : 共同利用データベース申請書  
共同利用データベース管理運用申請書
- \*提出期限 : **平成6年2月25日（金）**
- \*提出場所 : センター本館2F事務室

※必要書類一式はセンター本館事務室に用意しています。

## 5. 研究開発テーマの募集について

センターでは、有用なソフトウェア作成の開発・研究に対して利用負担金を一定額免除し、その開発を積極的に援助しています。来年度においても下記の要領で開発テーマの募集を行いますので、もしご計画をお持ちでしたら奮ってご応募下さい。

他システムで動いている入手可能な共通ソフト、パブリックドメインとなっているソフト等の、ACOS、CONVEX、ワークステーションへの移植の計画があれば研究開発課題として応募できます。ただし移植されたソフトは公開されることが必要です。

- \* 必要書類 : 研究開発計画承認申請書
- \* 提出期限 : **平成6年2月25日(金)**
- \* 提出場所 : センター本館2F事務室

※承認課題にはテクニカルレポートの原稿とプログラムの公開が義務づけられます。

※必要書類一式はセンター本館事務室に用意しています。

## 6. プログラム相談員募集について

センターでは平成6年度のプログラム相談員を下記の要領で募集していますので奮ってご応募下さい。

- ・ 期 間 : 平成6年4月中旬～平成7年3月中旬
- ・ 用 務 : 一般利用者のためのプログラム相談
- ・ 特 典 : 1時限(2時間)当たり計算機使用料3000円を免除します。  
なお、計算機使用料の一部を3.5インチ、5インチフロッピーディスク等の購入に充当することができます。その他特典としてラップトップ型パソコン(PC-9801T model F71)の貸出しも行なっております。
- ・ 資 格 : 原則として大学院生又は教職員
- ・ 応募締切 : **平成6年3月31日(木)**
- ・ 申込受付 : センター本館2F事務室

## 7. 年度末ファイル退避のための磁気テープ貸出について

センターでは、卒業等の理由で本年度を以てシステムの利用を終了される方、あるいは後継者に研究を引継がれる方のためにファイル退避用磁気テープの貸出を行っています。磁気テープ(2400 feet)は、本館事務室に多数用意しておりますのでお気軽にご利用下さい。

なお、ファイルの退避/復元等の方法につきましてはセンター利用マニュアルII-P.131 [ファイル処理方法] をご参照下さい。

また、テープの貸出期間は**平成6年4月15日(金)**迄です。

## 8. 年次処理作業に伴う計算機運用サービスの停止について

センターでは3月29日(火)～31日(木)にACOS-6およびA-U X (jupiter)の年次切替作業を行いますので、計算機運用サービスを停止します。

ワークステーションも、同期間内に順次行う予定です。詳しい日程は、電子メールで随時お知らせいたしますので、ご注意ください。

なお、新年度の運用は4月1日(金)より開始します。

## 9. CONVEXの新ソフトウェア紹介

※MOPACに関しては、MAGE No.16の特集記事に詳細が掲載されています。GAMESSに関しては、本紙研究開発の紹介記事に詳細が載っています。

### 1) MOPAC

前号のセンターニュース(No. 81)で利用希望を募りましたMOPAC(半経験的分子軌道計算ソフトウェア)を日本コンベックスコンピュータ(株)より提供いただき、CONVEX(ホスト名comet)にインストールしました。

このソフトはパブリックドメインソフトウェアですので、ノンサポート扱いとなっています。

### 2) GAMESS

今年度のセンター研究開発課題「量子化学計算パッケージGAMESSのCONVEXシステムへの移植と利用環境の整備」の成果として発達科学部蛭名助教のグループによりGAMESSがCONVEX(ホスト名comet)にインストールされました。

## センターニュース No. 83

## 1. 年次処理作業に伴う計算機運用サービスの停止について

センターでは、3月29日(火)～4月1日(金)にACOS-6の年次切替作業を行いますので、計算機運用サービスを以下の通り停止します。

ACOS-6	3月29日(火)～	31日(木)
ワークステーション	3月29日(火)～4月	1日(金)

EWSについては、下記の期間中、機器の利用ができない状態が発生します。

詳しい日程は、メールで随時お知らせいたしますので、ご注意ください。

なお、期間中はセンター本館を閉館しますので、あわせてご了承下さい。

## 2. 計算機システム利用経過（結果）報告及び継続申請の手続きを済ませていない方々へ（お断り）

継続・廃止とも受付期間を過ぎていますので、至急手続を行って下さい。未提出者には、文書等によりご連絡致しておりますが手続をされない場合、3月29日（火）をもって廃止扱いとさせていただきますのでご注意ください。

## 3. A-U X ( j u p i t e r ) の廃止

3月17日運営委員会において、A-U Xの廃止が決定しました。それに伴いセンターでは、3月末日を持ってサービスを停止します。A-U X上にデータなどを保存しているユーザは、3月29日までにデータの退避処置を行って消去して下さい。

なお、A-U Xを利用した電子メール利用者は、代替機能としてACOS上でTELNETクライアントのサービスを行っておりますので、センターまでお問い合わせして下さい。

## 4. ワークステーションの利用負担金について

ワークステーションの利用負担金を平成6年4月1日（金）より改正します。

【改正内容】①EWSについては、CPU利用負担金に課金上限を設けます。

利用負担金 課金上限・・・10万円

②CONVE Xについては、EWS同様に上限を設けます。

利用負担金 課金上限・・・20万円

③利用負担金のリソースチェックは、従来通りかかります。

※詳しくは、センターまでお問い合わせ下さい。

## 5. J O Bクラスの変更

ACOS S3900を円滑に運用するために、JOBクラスを4月1日より以下のように変更します。



(3) 新JOBクラス

JOB クラス	打 切 制 限					備考
	CPU	R-JOB	V-JOB		出力	
	時間	主記憶 KW	主記憶量 KW	仮想空間 KW	行数	
A	1分	246 (150)	4,000	15,000	248,000 (10,000)	
B	5分	246 (200)	5,000	15,000	248,000 (20,000)	
C	15分	246	5,000	15,000	248,000 (20,000)	
D	60分	246	10,000	30,000	248,000 (20,000)	
E	3分	246	64	256	1,000	教育用
L	5時間	246	20,000	65,536	248,000 (100,000)	
TSS	30分	256	256	65,536		
TSS	3秒	256	256	65,536		教育用

**6. 自習室変更のお知らせ**

総合情報処理センター分館の**第3演習室 (NeXT室)**は**廃止**となり、4月中旬より**自習室**となります。

## 7. NeXTサービスの変更

センターのNeXTワークステーションの運用について、分館に設置されていたNeXTワークステーションの撤去により、現在本館のNeXT

`murasaki (NeXT Dimension)`

`akashi (NeXT Cube)`

の運用は停止しています。サービス再開は、4月上旬を予定し、これまでのファイルについては、Convexコンピュータ (comet) の/Next/users/\*の下に移動しております。

※NeXTについては、94年8月現在、使用可能です。

## 8. DEC5810 (jasmin) のサービス縮小

センターでは、DEC5810の利用サービスを行っていますが、現在、保守契約も切れ、また、機器保守については予算的にも続行するには厳しい状況になっています。今後は運用形態を縮小して、停止する方向を考えていますので、利用者各位は、機能的には上位のCONVEX C3420ESを引き続きご利用下さい。

## 9. センター内線番号変更のお知らせ (重要)

神戸大学六甲台地区の内線番号再編に伴い、センターの内線番号及びモデム番号は3月28日以降、次のように変更になります。

センター本館代表番号 [旧番号：2288 → 新番号：2910]

センター分館代表番号 [旧番号：2080 → 新番号：2914]

### ●モデム番号

ACOS3900 [旧番号：2900 → 新番号：2950]

[旧番号：2901 → 新番号：2951]

[旧番号：2902 → 新番号：2952]

[旧番号：2910 → 新番号：2953]

EWS4800/350 [旧番号：2971 → 新番号：2971 (変更なし)]  
(icluna)

モデムによる局線 (一般公衆回線) からの接続の電話番号には変更ありません。

## 10. プログラム相談”新”メーリングリスト開設のご案内

※詳しくはセンターニュースNo. 84をご覧ください。

### センターニュース No. 84

#### 1. 日英翻訳ソフトウェア”PIVOT”紹介

※ EWSに関しては、詳細は MAGE No. 16 をご参照下さい。

#### 2. 平成6年度プログラム相談紹介

#### ～プログラム相談室移転のお知らせ～

プログラム相談室が6月より、総合情報処理センター分館に移動いたしました。

1. プログラム相談室： 分館1階「プログラム相談室」
2. 電話（内線2916番）
3. 相談用電子メール(progqa@icluna.kobe-u.ac.jp)

#### ～ 平成6年度 プログラム相談 時間割 ～

※（ ）内は、内線番号です。

	月	火	水	木	金
AM10:00 ～ PM12:00	豊田 (4703) 神谷	服部 (5529) 林 (5520)	閉室	蛸名 (7159) 山西 (7169)	田中 (4385)
PM 1:00 ～ PM 3:00	瀬良 (5188)	汪 (2809)	永井 (4385)	原 (5555)	嶽 (4380)
PM 3:00 ～ PM 5:00	平松 (5555)	松川 (5555)	門脇 (5178)	李 (5529)	鎬木 (6091)

#### プログラム指導員

福島 徹 (2902)  
井上 雄紀 (2904)  
樽磨 和幸 (2903)

〈プログラム相談員一覧表〉

名 前	部局名・学科・専攻	職 名	指 導 内 容
鎬木 誠	国際文化学部・コミュニケーション学科	教 授	FORTRAN, BASIC
蛭名 邦禎	発達科学部・人間環境学科	助教授	FORTRAN, MATHEMATICA NETWORK
嶽 鐘二	理学部・物理学科	助 手	FORTRAN, BASIC
瀬良 昌憲	工学部・建設学科	助 手	FORTRAN, BASIC
服部 元史	学部・情報知能工学科	助 手	FORTRAN, C
豊田 浄彦	農学部・農業工学科	講 師	FORTRAN, BASIC, C
神谷 信義	農学部・生産環境情報学科	M 2	FORTRAN
永井 康一	自然科学研究科・物質科学専攻	学 振	FORTRAN
田中 秀治	自然科学研究科・物質科学専攻	D 1	FORTRAN, BASIC
山西 輝也	自然科学研究科・自然科学専攻	研究生	FORTRAN, BASIC
李 士芳	自然科学研究科・システム科学専攻	D 3	C, C++
林 信男	自然科学研究科・システム科学専攻	D 3	C
汪 藍天	自然科学研究科・システム科学専攻	D 3	FORTRAN, BASIC, C
門脇 正夫	自然科学研究科・システム科学専攻	M 2	FORTRAN
原 伸一郎	自然科学研究科・情報知能工学科	M 2	SmallTalk
平松 治彦	自然科学研究科・情報知能工学科	M 1	C
松川 靖	自然科学研究科・情報知能工学科	M 1	C

～ プログラム相談メーリングリストのご案内 ～

総合情報処理センターでは、プログラム相談用メーリングリスト\*(progqa@kobe-u.ac.jp)を運用しています。

\*メーリングリストとは?・・・

例えば、progqa@kobe-u.ac.jpというメーリングリストを用意して、そこに参加者の名前を登録しておけば、progqa@kobe-u.ac.jp宛に出したメールは、参加者全員に配送される仕組みのことです。

このメーリングリストは、「センター機器に関すること」、「各種ソフトウェア、ハードウェアに関すること」、「ネットワークに関すること」など、計算機やネットワークの利用に関するあらゆる問題に関して質問したり、(知っていることがあれば)回答する、メールユーザのグループです。メール利用者なら誰でも登録できますので、奮ってご参加ください。

●メールリスト名： progqa@kobe-u. ac. jp

●参加方法： 以下のどちらの方法でも受け付けます。

その1) progqa-admin@kobe-u. ac. jp宛に「progqa参加希望」と書いたメールをお送りください。メールリスト世話人（センター・陰山）が登録いたします。

その2) 自動登録の機能も利用できます。

「# on」と書いただけのメールをprogqa@kobe-u. ac. jp宛に送ると自動登録されます。

例1) mailxをお使いの場合

```
% mailx progqa@kobe-u. ac. jp [リターン]
Subject: [リターン]      (Subjectは、関係ありません。)
Cc: [リターン]          (Cc:は、聞いてこない場合もあります。)
# on [リターン]         (#とonの間には1スペースが必要です。)
[ctrl]-D               ([ctrl]キーを押しながら[D])
EOT
```

例2) emacsでmailをお使いの場合

```
To: progqa@kobe-u. ac. jp [リターン]
Subject:                  (Subjectは、関係ありません。)
---Text follows this line---
# on [リターン]          (#とonの間には1スペースが必要です。)
[ctrl]+C [ctrl]+C
```

の様に「---Text follows this line---」のすぐ次の行に「# on」と書いて下さい。

●メールリストの記事を受けたくなくなったときは、「# off」と書いただけのメールをprogqa@kobe-u. ac. jp宛に送ると自動的にメンバーから削除されます。

●「# help」と書いただけのメールをprogqa@kobe-u. ac. jp宛に送ると、「#」で始まるメール（コマンドメール）のその他の利用法が配送されますので、参考にして下さい。

### 3. 計算機利用料金通知書発送方法の変更について

従来、毎月初めに各支払責任者宛に送付しておりました計算機利用料金通知書を、平成6年度分より、3カ月ごとの発送に変更することになりましたのでご了承下さい。

なお、リソース表示機能としてACOS上でのMONIコマンド、EWS上でのresoコマンドがありますのでご利用下さい。

## <MONIコマンド (ACOS上) >

- ・接続した利用者のACOSのリソース状況が表示されます。専用ファイル所有者はその使用サイズも表示されます。

(操作法)

SYSTEM? MONI

以下の項目で現在までの利用状況が表示されます。

- |               |            |                |                  |
|---------------|------------|----------------|------------------|
| 1. YOSAN      | : 予算額      | 7. BATCH CPU   | TIME: バッチCPU時間   |
| 2. USED       | : 使用額      | 8. TSS CPU     | TIME: TSS CPU時間  |
| 3. BATCH USED | : バッチ使用料   | 9. SYORI JOB   | CNT : バッチ処理件数    |
| 4. TSS USED   | : TSS 使用料  | 10. TSS CARDIN | CNT : CARDIN処理件数 |
| 5. BATCH CPU  | : バッチCPU時間 | 11. TSS CONV   | CNT : TSS会話数     |
| 6. TSS CPU    | : TSS CPU料 |                |                  |

```
05-16-94      08.512
PRIVATE FILE NAME - 専用ファイル名
MAX LLINKS     - 申請サイズ
LLINKS USED    - 使用サイズ
```

DB CATALOG NAME ?

= DBカタログ名入力 (課題番号) ---> 何も入力せずに実行送信キーを押すと  
SYSTEM? に戻ります。

DB CATALOG NAME- カタログ名 (共用ファイル名)

MAX LLINKS- 共用ファイルサイズ

LLINKS USED- 使用サイズ

◆この表示は、ACOS, EWS, CONVEXを問わない利用負担金の総使用額です。

## <resoコマンド (EWS上) >

- ・EWS (icluna, mars0~3, earth) 上でのリソース表示機能には、RESOコマンドをお使い下さい。ただし、このコマンドはCONVEX上では利用できません。

(操作法)

% reso → 'reso' と入力すれば、以下のように表示されます。

・ {画面上}

ACCOUNT	UPDATE	AT 1994/06/02	→リソース情報収集日付
ACOS	USER-ID	OCHIEF0998	
UNIX	LOGIN-ID	ipcenter	
		RESOURCE MAX (YEN)	RESOURCE USED (YEN)
ACOS		15000 (利用申請額)	4000 (総使用額)
Workstation		100000 (EWS請求限度額)	300 (EWS請求額)
CONVEX		200000 (CONVEX請求限度額)	200 (CONVEX請求額)

この機能は前日までの個人別の利用負担金について表示します。ACOSの表示については、ACOS, EWS, CONVEXを問わない利用負担金の総使用額を表示します。また、Workstation, Convexの表示についてはEWS, CONVEXの利用負担金の使用額を表示します。尚、当日分については反映されませんので、EWS使用中に申請額を越えるような場合は越えると同時ではなく、翌日から使用できなくなりますので、ご注意下さい。

## 5. ACOSオンラインヘルプについて

### 1. 概要

オンラインヘルプは、ヘルプコマンド (HELPC) をわかりやすく参照できるTSSコマンドで、TSSの利用説明、用語説明、さらに、センターニュースやセンターインフォメーションの照会もできます。

日本語の表示される端末において使用できます。(日本語の表示されない端末や、ログモードでの使用はできません。)

### 2. 起動方法

#### 2-1 会話形式

メインメニュー

↓

C.....コマンドHELP

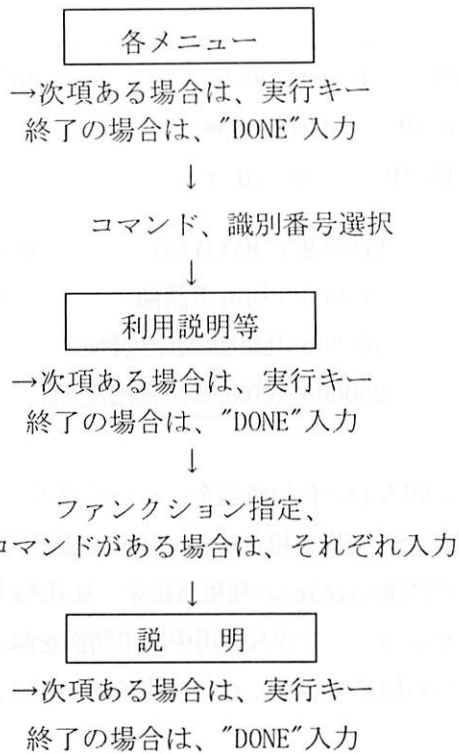
CMD...コマンドHELP (詳細)

W.....用語HELP

S.....センターニュース

D.....TSSコマンド解説 (センター)

↓



## 2-2 非会話形式

TSS端末より以下の様に入力することにより、コマンド利用説明、用語説明、センターニュースのテキストを参照できます。

コマンドHELP

TSSコマンド解説 (センター) ……

- "ONLHELP C, コマンド名"
- "ONLHELP C, コマンド名, ファンクション指定"
- "ONLHELP C, コマンド名, ファンクション指定, サブコマンド名"
- "ONLHELP CMD, コマンド名"
- "ONLHELP CMD, コマンド名, ファンクション指定"
- "ONLHELP CMD, コマンド名, ファンクション指定, サブコマンド名"
- "ONLHELP D, コマンド名"
- "ONLHELP D, コマンド名, ファンクション指定"
- "ONLHELP D, コマンド名, ファンクション指定, サブコマンド名"

用語HELP…"ONLHELP W, 用語識別番号, メニューに表示されている番号"

センターニュース…"ONLHELP S, ニュース識別番号, メニューに表示されている番号"

↓  
利用説明等

↓

会話形式

なお、テキストの表示後は会話形式となります。



### 3. 会話形式提供機能の説明

#### ① C……………コマンドHELP

メインメニューより”C”を選択したときは、五十音順にコマンド一覧が表示されます。

ここでコマンド一覧に表示されているコマンド名を入力するとコマンドの利用説明が表示され、更にファンクション指定、サブコマンドがある場合は、それぞれの入力促進メッセージが表示され、入力後にそれぞれの利用説明が表示されます。

#### ② CMD…コマンドHELP (詳細)

メインメニューより”CMD”を選択したときは、利用目的別にコマンド一覧が表示されます。

ここでコマンド一覧に表示されているコマンド名を入力するとコマンドの利用説明が表示され、更にファンクション指定、サブコマンドがある場合は、それぞれの入力促進メッセージが表示され、入力後にそれぞれの利用説明が表示されます。

#### ③ W……………用語HELP

メインメニューより”W”を選択したときは、用語メニューが表示されます。

ここで用語メニューに表示されている番号を入力すると、更にメニューが表示され、番号を選択すると用語の説明が表示されます。

#### ④ S……………センターニュース

メインメニューより”S”を選択したときは、ニュースメニューが表示されます。

ここでニュースメニューに表示されている番号を入力すると、更にメニューが表示され、番号を選択するとニュースの説明が表示されます。

#### ⑤ D……………TSSコマンド解説 (センター)

メインメニューより”D”を選択したときは、センターで主に使用するコマンドの抜粋一覧が五十音順に表示されます。

ここでコマンド一覧に表示されているコマンド名を入力するとコマンドの利用説明、例、操作法等が表示されます。

### 4. 注意事項

- 1) 各画面の入力促進メッセージに、“DONE”と入力すると終了し、システム選択レベルに戻ります。
- 2) 表示が一画面以上ある場合は、画面左下に“\*\*”が表示され、実行キー入力待ちになります。
- 3) 前画面へ戻る場合は、何も入力せずに実行キーのみを押下してください。

- 4) 非会話形式の起動であっても、テキストの表示後は、入力促進メッセージが表示され、会話形式になります。

## 6. 分館の様様替えについて

平成6年3月18日より、下記の通り分館教室が移動しました。どんどん利用して下さい。

改装前	→	改装後
第三演習室	→	自習室
自習室	→	閲覧室
閲覧室	→	倉庫
作業室	→	教官控室
		→プログラム相談員室

## 7. 計算機システムサービス時間について

平成6年4月1日から9月30日の期間は、計算機システムサービスが次のようになります。

	ACOS3900		ネットワーク系及びワークステーション
	オープン時間	TSSサービス時間	
平日 (水曜日を除く)	9:00 ~ 17:00	9:00 ~ 22:00	24時間稼働
水曜日	11:00 ~ 17:00	11:00 ~ 22:00	
土・日・祝日	休	館	

## 8. ネットワークQ&Aを受け付けます

この度、神戸大学に新たなネットワーク・システム「KHAN(Kobe Hyper Academic Network)」が発足いたしました。このネットワークについて、関心をお持ちの方も多いことと思います。そこで、広くセンター・ユーザの皆様から、ネットワーク関連の質問をお受けして、Q&Aの形でお答えすることになりました。初歩的・入門的なことから専門的・技術的なことまで、ご遠慮なく、何でもお寄せ下さいませ。

ということで、記念すべき第1回は……

Q. 新LANはどのような日程で立ち上がるのでしょうか？一般ユーザは、いつから利用できますか？  
(橋場弘和、教育学研究科修士課程1年)

**A. 現時点での日程をお知らせします。**

**6月1日 試験運用開始**

とりあえず通信可能な状態になります。正式運用までに問題点を洗い出す期間で、どんどんつないで使っていただいても結構ですが、正常な作動は保証できません。なお、機器のアドレスについては各部局ネットワーク管理者（ネットワーク運用委員等）にご相談下さい。また、ネットワークで問題が生じた場合も、各部局管理者にご一報いただきますようお願いいたします。

**7月中旬、9月中旬 各種講習会実施（予定）**

**9月初旬 正式運用開始（予定）**

この後も、いろいろなユーザ・サービスを順次開始していく予定です。

（解答者：蛭名邦禎、発達科学部）

この質問の宛先は、yuuko@kobe-u.ac.jpまたは、センター窓口（高橋）までお願いいたします。どしどしお寄せ下さい。お待ちしております。

**9. 「総合情報処理センター・夏期講習会」および「情報ネットワークシステム委員会・ネットワーク講習会」のお知らせ**

例年総合処理センターの行っている夏期講習会を、今年度は情報ネットワークシステム委員会との共催の形で下記プログラムの要領で開催します。

受講希望の方は、添付の申込書に記入の上、センター本館 2 階事務室までお申し込み下さい（申し込み〆切は **7月6日（水）**）。

本案内は、このセンターニュースの他、電子メールによるものを用意しています。センターのワークステーションに利用者登録されている方を中心に、電子メールにて案内を流していますが、ご希望の方は、

**teabreak(133.30.10.116) の /pub/KAC/kacbox/lecture.txt**

を anonymous ftp でおとりいただくか、または、

**kageyama@kobe-u.ac.jp**

まで「講習会案内請求」と書いたメールをおよせ下さい。

なお、今回の受講申し込みは、7月開催分のみとし、9月開催分については7月に再度ご案内申し上げます。

講習会についてのお問い合わせは、

総合情報処理センター・陰山（内線2912）

E-mail: kageyama@kobe-u.ac.jp

までお願い致します。

また、講習会に先立って勉強会的な位置付けの Khan Network Seminar を工学部情報コンセント教室にて行います(受講申込不要)ので、こちらのプログラムも併せてお知らせ致します。

講習会、勉強会とも実習形式のものは、教室の収容員数に限りがございますので、調整させていただく可能性があります事をおことわり申し上げます。

## 講習会プログラム

プログラムに記載の「場所」は、以下の番号をご参照下さい。

- 場所：(1) 工学部本館・情報コンセント教室 LR205、LR206 (MAC 80台)  
 (2) 工学部システム棟・情報コンセント教室 LR209 (WS 40台)  
 (3) 総合情報処理センター分館 3F 会議室  
 (4) 総合情報処理センター分館 1F 演習室

### ■ 受講申込受付分 (7月開催分)

#### ● センター講習会 (第 1 部) 7/11(月)

申込番号	時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場 所
[1]	10:00-12:00	センター利用案内	山西(センター)他	(3)
[2]	13:00-15:00	ネットワークからセンター計算機を使う - 1. 講義 -	福島(センター)	(3)
[3]	15:10-17:10	ネットワークからセンター計算機を使う - 2. 実習 -	福島(センター)	(4)

#### ● ネットワーク講習会 (第 1 部) 7/12(火)

申込番号	時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場 所
[4]	10:00-12:00	新キャンパス LAN (KHAN) の紹介	蛭名(発達科学部)	(3)
[5]	13:00-15:00	ネットワークへの機器接続	宮川 (株)きんでん	(3)
[6]	15:10-17:10	すぐ使えるメール・ニュース	井上(センター)	(3)

● センター講習会 (第 2 部) 7/13(水)

申込番号	時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場所
[7]	10:00-16:00	convex 講習会 - Fortran & C オプチマイズト レーニング -	(株)日本 コンベッ クス	(4)

受講者条件 : UNIXの基本コマンドが使える

C もしくは FORTRAN でプログラミングできる。  
エディタ (vi もしくは emacs) が使える。

■ 9 月開催分 (予定)

● ネットワーク講習会(第 2 部) 9/12(月)

時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場所
10:00-12:00	ネットワーク(インターネット)で何が できるか ?	(株)富士通	(3)
13:00-15:00	ネットワーク・プロトコルとは何か?	(株)富士通	(3)
15:10-17:10	高速通信の花形 ATM	(株)富士通	(3)

● ネットワーク講習会 (第 3 部) 9/13(火)

時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場所
10:00-12:00	ネットワーク管理あれこれ	未定	(3)
13:00-15:00	外部アクセス網の利用法	未定	(3)
15:10-17:10	すぐできる国内外図書館へのアクセス と CD-ROM サーバ利用法	石定(附属図書館)	(4)

● センター講習会 (第 3 部) 9/19(月)

時 間	内 容	講 師 (敬称略)	場所
10:00-12:00	ネットワークによる情報発信サービス Mosaic の利用法	村尾(自然科学研究 科)	(2)
13:00-15:00	数式処理ソフト Mathematica 入門	田村(工学部)	(2)
15:10-17:10	EWS 活用法 - 日英・英日翻訳用ソフ トウェア翻訳ワークベンチ PIVOT -	(株)日本電気	(2)

■ Khan Network Seminar(第 1 回) (申し込みは不要)

予定日	時 間	内 容	講 師	場 所
6/22(水)	17:00-18:30	CD-ROM作成法	(株) エイコー システム研究所	(1)
6/23(木)	17:00-18:30	マルチメディア情報ブラウザ Mosaic の利用法 - 1. Mac 編 -	田中(克) (工学部)	(1)
6/24(金)	17:00-18:30	マルチメディア情報ブラウザ Mosaic の利用法 - 2. ワークステーション編 -	村尾(自然科学 研究科)	(2)
6/27(月)	17:00-18:30	電子メールの利用法 - popper の設定および Eudora の利用法 -	岡田・楨本 (工学部)	(1)
6/28(火)	17:00-18:30	学内電子ニュースの利用法 - Mac を用いたニュースの読み 方、ニュースグループの設定法	松田(自然科学 研究科)	(1)